
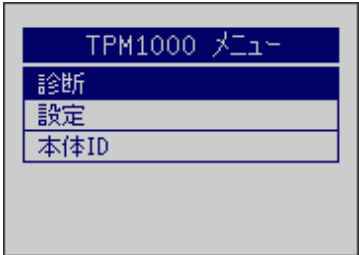

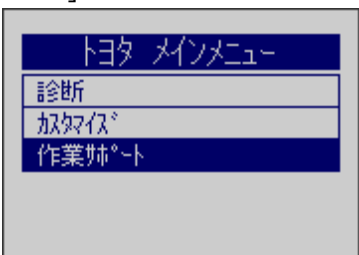
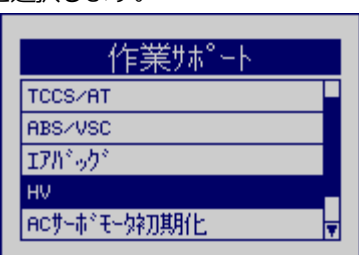


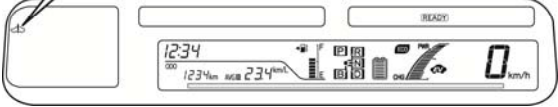
プリウス α の整備モード移行方法 (ZVW40 型系)

	整備モード時、ウォークランプが点灯した場合は、整備モード解除後、ダイアグノースを確認し、消去して下さい。
1.	イグニッションスイッチが OFF であることを確認し、TPM1000 を車両に接続します。
2.	シフト位置 P ポジションであることを確認し、イグニッションスイッチを ON にします。(ブレーキペダルを踏まずに、パワー(イグニッション)スイッチを 2 回押します)
3.	[診断] を選択します。 
4.	[TOYOTA] を選択します。 
5.	[作業モード] を選択します。 
6.	[HV] を選択します。 
7.	[整備モード] を選択します。

	
8.	注意事項確認後、[YES] ボタンを押します。 
9.	条件確認後、[YES] ボタンを押します。 
10.	下記表を参考に、モードを選択し、[YES] ボタンで実行します。 

整備モードの説明

項目	使用目的	内容
2WD (排ガス測定用)	<ul style="list-style-type: none"> ● 点火時期点検などのエンジン調整 ● 車両検査時のアイドル CO/HC 点検など ● スピードメーター、2 輪シャフトイモーターでの試験など 	<ul style="list-style-type: none"> ● シフトポジション P 時のエンジン強制アイドル ● TRC 装置の作動解除
2WD (TRC 禁止用)	<ul style="list-style-type: none"> ● スピードメーター、2 輪シャフトイモーターでの試験など 	<ul style="list-style-type: none"> ● TRC 装置の作動解除

<p>11.</p>	<p>整備モードへ移行が完了しました。 Ready ON (ブレーキペダルを踏み、パワー(イグニッション)スイッチを押す) でエンジンを始動して下さい。</p> <p>READY インジケータランプが点灯し、エンジンが連続運転になります。 整備モード中は、この画面のまま保持します。</p> <div data-bbox="311 342 671 600" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>整備モードへ移行しました Ready ONして下さい</p> <p>注意! 「YES」ボタンを押すと整備モードを終了します。 「YES」ボタンを押した後に必ずIG OFFして下さい</p> </div>
<p>!</p>	<p>整備モード中は、コンビネーションメータのハイブリッド・システム警告灯が1秒周期で点滅します。</p> <div data-bbox="212 719 772 898" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>! : ハイブリッド・システム警告灯</p>  </div>
<p>!</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・整備モード (2WD 排ガス測定用) でのアイドル回転数は、約 1000r/min です。 ・Pポジション時のみ、アクセルペダルを踏むとアクセル開度中程度までは約 1500r/min、それ以上全開までは約 2500r/min でレーシングします。 ・整備モード (2WD 排ガス測定用) 中にダイアグコードが記憶されると、ハイブリッド・システム警告灯が点灯します。 ・整備モード (2WD 排ガス測定用) で作業中に、ハイブリッド・システム警告灯が点灯し続けた場合は、整備モードを停止してダイアグコードの点検を行って下さい。
<p>12.</p>	<p>作業が終わりましたら、以下の手順で整備モードを解除します。</p>
<p>13.</p>	<p>[YES] ボタンを押し、[HV モード] に戻ります。</p>
<p>14.</p>	<p>[NO] ボタンを何度か押し、[トヨタメニュー] まで戻ります。</p>
<p>15.</p>	<p>イグニッションスイッチを OFF にします。</p>
<p>16.</p>	<p>整備モードが解除されました。</p>
<p>17.</p>	<p>TPM1000 を車両から外します。</p>